

 CEMEDINE

タイル用弾性接着剤/有機系下地調整塗材

タイルエース

シリーズ

< タイルアジャスト工法 >

タイルエース Pro

タイルエース LPro

タイルアジャスト

タイルアジャスト 5

< 内装タイル・大判タイル・石材張り工法 >

タイルエース F

タイルエース 石材用

< 床タイル張り工法 >

タイルエース 床用

タイルエース 床リフォーム用

タイル用弾性接着剤/弾性下地調整塗材

タイルエース シリーズ

c o n t e n t s

●	シリーズ一覧	表紙
●	目 次	P02
○	外装タイル張り「タイルアジャスト工法」	P03
●	タイルエース Pro	P04
●	タイルエース L Pro	P05
●	タイルアジャスト	P06
●	タイルアジャスト 5	P07
●	施工方法「下地調整」	P08
●	施工方法「タイル張り」	P09
●	資料「シーリング材との相性」	P10
●		
○	内装・大判タイル張り/石材張り工法	P11
●	タイルエース F	P12
○	タイルエース 石材用	P13
●	施工方法「ビード塗布張り」	P14
●	施工方法「ダンゴ張り」	P15
●		
○	床タイル張り工法	P16
●	タイルエース 床用	P17
●	タイルエース 床リフォーム用	P18
●	施工方法「床タイル張り」	P19
●	タイルエースシリーズ工法別商品一覧表	裏表紙

タイルアジャスト工法

タイルアジャスト®工法 は、タイルの後張り工法で、下地の不陸調整とタイル張りに有機系弾性材料を使用する事により、タイル剥落を抑止できます。

品質安定

現場で混練り不要の一液反応硬化タイプなので、品質が安定します。

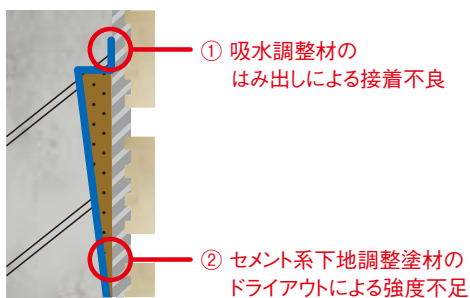
長寿命化

コンクリート躯体はコンクリートの乾燥による収縮や、コンクリートとタイルの熱膨張差によって発生する層間歪により、モルタル張りでは大きな繰り返しせん断力が生じます。この繰り返し応力がタイル剥落の因子となっています。弾性接着剤は、歪による応力を緩和することで、タイル剥落を抑制します。

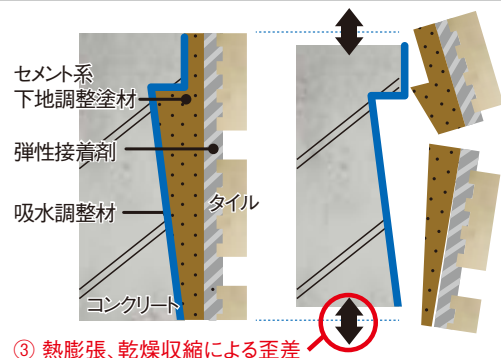
弾性接着剤は、セメント系下地調整塗材に対しても有効ですが、セメント系下地調整塗材の場合は、以下の注意点があります。

- ① セメント系下地調整塗材は事前に吸水調整材を塗布しますが、弾性接着剤の接着阻害となるため、施工箇所以外へのはみ出しに注意しなければいけません。
- ② セメント系下地調整塗材は薄塗りするとドライアウトする場合があります。
- ③ セメント系下地調整塗材はコンクリートとの歪による力を緩和できないので、下地調整塗材とコンクリートの間で剥離が起こる可能性があります。

セメント系下地調整塗材による部分施工



セメント系下地調整塗材による面施工

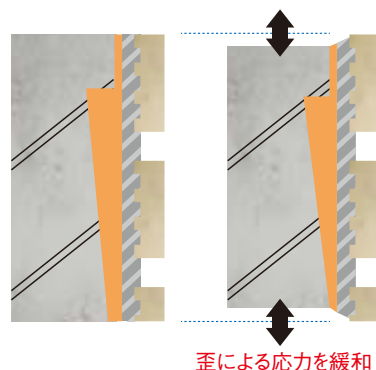


有機系下地調整塗材「タイルアジャスト／タイルアジャスト5」を使用することで、薄塗り施工でも強度不足が抑制され、有機系下地調整塗材とコンクリートの応力も緩和し、弾性接着剤「タイルエースPro」の接着性能を最大限に発揮させることが出来ます。

ライフサイクルコスト削減

外装タイル張り用有機系接着剤、および有機系下地調整塗材で施工した建築物については、国土交通省の技術的助言により、建築物の定期調査報告における「外壁タイル」調査方法が大幅に合理化され、ライフサイクルコストの低減が可能になります。

有機系下地調整塗材による施工





一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘 度	630Pa・s/23℃
密 度	1.56g/cm ³
張付け可能時間	60分/23℃ 30分/35℃
標準使用量	
[内装]3mm櫛目	1.5~1.9kg/m ²
[外装]5mm櫛目	2.0~2.5kg/m ²

適用部材

<仕上げ材>

●セラミックタイル(重量の重いタイル、大判タイル、裏面連結、ユニットタイルは事前にご確認ください)●ブリックタイル

<下地材>

●コンクリート、モルタル下地(目安として含水率が8%以下に乾燥していること)●押出成形セメント板●ALCパネル(下地処理必要)●無塗装サイディング(当社指定外のサイディング板についてはご確認ください)●合板(I類合板)●ケイ酸カルシウム板(比重1.0以上)●石膏ボード●フレキシブルボード(オートクレープ処理品)

※:下地は適用箇所に応じて適切に選択してください。

適用できない箇所

●直火が当たる箇所●アスファルト下地●吸水調整材が塗布された箇所●浴槽内など常時水に浸漬される箇所●吸水調整材やシーラーを施した下地

注意事項

●重いタイル、大きいタイルは事前にずれや付着面積が確保できるか確認してください。●石材は裏面にあらかじめプライマーMP2000を塗布してください(必要に応じてタイルエース石材用を使用してください)。●収縮等の動きが大きい乾式ボード下地にタイルをまたがって施工する場合は、板間にブチルテープを張り付けて絶縁してください。●現場塗布型のFRP防水は接着できないことがあるので事前に確認してください。●塗装されている下地は施工できないことがありますので事前に確認ください。●改修の場合は事前に弊社に相談してください。●コンクリートブロックの場合は下地を作成するかプライマーMP2000を塗布してください。

Q-CAT認定試験 QTM-A3、A7耐候性試験

オープンフレームカーボンアークランプ試験結果(グレー色)

下 地	100時間	500時間	1000時間
モルタル	0.30	0.46	3.13
押出成形セメント板	0.30	1.97	2.49
サイディング	0.33	0.55	0.29
サイディングのジョイントテープ上	0.84	2.04	1.69

特 徴

- 内・外装 壁タイル張り用接着剤
- 空目地仕様可能
- 300mm角タイルまで可能
(面積900cm²以下かつ長辺600mm以下まで)
- 有機系下地調整塗材としても使用可能
(一度に5mm厚さまで、最大10mm厚さまで)

JIS試験結果

■接着強さ

JIS A 5548 TypeI セラミックタイル張り内装用有機系接着剤

項 目	接着強さ(N/mm ²)	基 準
標 準	1.72	0.60 以上
温 水	1.26	0.30 以上
熱劣化	2.27	0.30 以上
低温硬化	1.94	0.30 以上
アルカリ水中	1.64	0.30 以上

JIS A 5557 外装タイル張り用有機系接着剤

項 目	結 果	基 準
標 準	接着強さ(N/mm ²) 凝集破壊率(%)	1.02 100 75 以上
低温硬化	接着強さ(N/mm ²) 凝集破壊率(%)	1.05 100 0.40 以上 50 以上
アルカリ温水 浸せき	接着強さ(N/mm ²) 凝集破壊率(%)	0.77 100 0.40 以上 50 以上
凍結融解	接着強さ(N/mm ²) 凝集破壊率(%)	0.65 100 0.40 以上 50 以上
熱劣化	接着強さ(N/mm ²) 凝集破壊率(%)	2.07 100 0.40 以上 50 以上

■被膜物性

JIS A 5557 皮膜物性

項 目	結 果	基 準
標 準	引張強さ(N/mm ²) 伸び(%)	1.08 99 0.60 以上 35 以上
温度依存 -20℃	引張強さ(N/mm ²) 伸び(%)	1.11 75 0.60 以上 35 以上
温度依存 80℃	引張強さ(N/mm ²) 伸び(%)	1.11 101 0.60 以上 35 以上
アルカリ温水 浸せき	引張強さ(N/mm ²) 伸び(%)	0.86 84 0.40 以上 25 以上
熱劣化	引張強さ(N/mm ²) 伸び(%)	1.10 93 0.40 以上 25 以上

各種下地への接着性

内装タイル:JIS A 5548 標準養生条件

下 地	接着強さ(N/mm ²)
ケイ酸カルシウム板(比重1.0)	1.02
石膏ボード	0.18
ラワン合板	0.89
スレート	1.14

外装タイル:JIS A 5557 標準養生条件

下 地	接着強さ(N/mm ²)
押出成形セメント板	1.29
アルミ(JIS A5052P)	0.68
亜鉛メッキ鋼板	0.68
SUS304(ヘアライン)	0.64



一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘 度	440Pa・s/23℃
密 度	1.52g/cm ³
張付け可能時間	60分/23℃ 30分/35℃
標準使用量	
[内装]3mm櫛目	1.5~1.9kg/m ²
[外装]5mm櫛目	2.0~2.5kg/m ²

適用部材

<仕上材>

●セラミックタイル(重量の重いタイル、大判タイル、裏面連結、ユニットタイルは事前にご確認ください)●ブリックタイル

<下地材>

●コンクリート、モルタル下地(目安として含水率が8%以下に乾燥していること)●押出成形セメント板●ALCパネル(下地処理必要)●無塗装サイディング(当社指定外のサイディング板についてはご確認ください)●合板(I類合板)●ケイ酸カルシウム板(比重1.0以上)●石膏ボード●フレキシブルボード(オートクレープ処理品)

※:下地は適用箇所に応じて適切に選択してください。

適用できない箇所

●直火が当たる箇所●アスファルト下地●吸水調整材が塗布された箇所●浴槽内など常時水に浸漬される箇所●吸水調整材やシーラーを施した下地

注意事項

●重いタイル、大きいタイルは事前にずれの有無や付着面積が確保できるか確認してください。●石材は裏面にあらかじめプライマーMP2000を塗布してください(必要に応じてタイルエース石材用を使用してください)。●収縮等の動きが大きい乾式ボード下地にタイルをまたがって施工する場合は、板間にプチルテープを張り付けて絶縁してください。●現場塗布型のFRP防水は接着できないことがあるので事前に確認してください。●塗装されている下地は施工できないことがありますので事前に確認してください。●改修の場合は事前に弊社に相談してください。●コンクリートブロックの場合は下地を作成するかプライマーMP2000を塗布してください。

Q-CAT認定試験 QTM-A3、A7耐候性試験

オープンフレームカーボンアークランプ試験結果(グレー色)

下 地	100時間	500時間	1000時間
モルタル	0.22	0.48	0.66
押出成形セメント板	0.25	1.79	1.85
サイディング	0.36	0.59	0.48
サイディングのジョイントテープ上	0.60	2.00	1.46

特 徴

- 内・外装 壁タイル張り用接着剤
- 空目地仕様可能
- ニ丁掛タイルまで可能
- 低粘度・良作業性

JIS試験結果

■接着強さ試験結果

JIS A 5548 TypeI セラミックタイル張り内装用有機系接着剤

項 目	接着強さ(N/mm ²)	基 準
標 準	1.55	0.60 以上
温 水	1.11	0.30 以上
熱劣化	2.37	0.30 以上
低温硬化	1.99	0.30 以上
アルカリ水中	1.45	0.30 以上

JIS A 5557外装タイル張り用有機系接着剤

項 目		結 果	基 準
標 準	接着強さ(N/mm ²)	0.95	0.60 以上
	凝集破壊率(%)	100	75 以上
低温硬化	接着強さ(N/mm ²)	0.93	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	50 以上
アルカリ温水 浸せき	接着強さ(N/mm ²)	0.59	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	50 以上
凍結融解	接着強さ(N/mm ²)	0.63	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	50 以上
熱劣化	接着強さ(N/mm ²)	1.55	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	50 以上

■被膜物性試験

JIS A 5557 皮膜物性

項 目		結 果	基 準
標準	引張強さ(N/mm ²)	0.90	0.60 以上
	伸び(%)	111	35 以上
温度依存 -20℃	引張強さ(N/mm ²)	0.90	0.60 以上
	伸び(%)	118	35 以上
温度依存 80℃	引張強さ(N/mm ²)	0.87	0.60 以上
	伸び(%)	78	35 以上
アルカリ温水 浸せき	引張強さ(N/mm ²)	0.75	0.40 以上
	伸び(%)	91	25 以上
熱劣化	引張強さ(N/mm ²)	0.90	0.40 以上
	伸び(%)	101	25 以上

各種下地への接着性

内装タイル:JIS A 5548 標準養生条件

下 地	接着強さ(N/mm ²)
ケイ酸カルシウム板(比重1.0)	1.00
石膏ボード	0.17
ラワン合板	0.84
スレート	1.18

外装タイル:JIS A 5557 標準養生条件

下 地	接着強さ(N/mm ²)
押出成形セメント板	1.00
アルミ(JIS A5052P)	0.62
亜鉛メッキ鋼板	0.61
SUS304(ヘアライン)	0.63



JAIA F☆☆☆☆
4VOC基準適合

厚生労働省指針値策定14物質不使用



A 5557



接着剤：タイルエースPro・LPro

一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘度	570Pa・s/23℃
密度	1.50g/cm ³
標準使用量 1mm厚さ塗布	1.5~2.0kg/m ²

硬化性能の目安

条 件	想定気温	添加量*	施工可能 時間(分)	10mm厚さ硬化 時間(時間)
冬 場	5℃	無し	90	144
		1袋	80	24
		2袋	70	16
常 温	23℃	無し	30	48
		1袋	25	24
夏 場	35℃	無し	15	24
		1袋	10	16

*タイルアジャスト2kgに対するPMアクセラレーター(10g/袋)の添加量

硬化促進剤 PMアクセラレータ (10g/袋)



タイルエースシリーズは、空気中の湿気により硬化するため、内部の硬化に時間がかかります。
「PMアクセラレータ」を混合することにより、内部硬化を早めることが可能です。

使用目安：1本(2kg)に対し1袋(10g)
(最大2袋(20g)まで)

適用部材

<下地材>

●コンクリート●押出成形セメント板の不陸調整●10mm以上の不陸調整にはセメント系下地調整塗材を使用してください。●下処理したALCパネル(不陸調整は5mm以内としてください)

注意事項

●10mm厚さ以上の不陸調整にはセメント系下地調整塗材を使用してください。●タイル張りにはタイルエースPro、タイルエースL Proをご使用ください(タイルアジャストが硬化してからタイル張りしてください)。●脆弱部、吸水調整材やシーラーは除去してください。●コンクリート下地は目安として含水率が8%以下に乾燥させてください。

特 徴

- 外装コンクリート系下地用 有機系下地調整塗材
- 厚塗りタイプ
(一度に10mm厚さまで、最大10mm厚さまで)
- 薄塗りしてもドライアウトしない
- コンクリートの目荒し不要
(清掃は必要)
- Q-CAT(個別)有機系下地調整塗材適合品

Q-CAT(個別)有機系下地調整塗材の試験

■接着強さ試験

Q-CAT(個別) 付着強さ試験(モルタル下地)

項 目		張付材		基 準
		タイルエースPro	タイルエースL Pro	
標 準	付着強さ(N/mm ²)	1.00	0.83	0.60 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	75 以上
低温硬化	付着強さ(N/mm ²)	0.88	0.68	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上
アルカリ温水 浸せき	付着強さ(N/mm ²)	0.83	0.81	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上
凍結融解	付着強さ(N/mm ²)	0.96	0.85	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上
熱劣化	付着強さ(N/mm ²)	1.58	1.37	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上

Q-CAT(個別) 付着強さ試験(押出成形セメント板下地)

項 目		張付材		基 準
		タイルエースPro	タイルエースL Pro	
標 準	付着強さ(N/mm ²)	0.92	0.77	0.60 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	75 以上
低温硬化	付着強さ(N/mm ²)	1.02	0.78	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上
アルカリ温水 浸せき	付着強さ(N/mm ²)	1.24	1.20	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上
凍結融解	付着強さ(N/mm ²)	1.05	0.93	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上
熱劣化	付着強さ(N/mm ²)	1.10	0.95	0.40 以上
	凝集破壊率(%)	100	100	50 以上

■被膜物性試験

Q-CAT(個別) 皮膜物性

項 目		結 果	基 準
標 準	引張強さ(N/mm ²)	1.12	0.60 以上
	伸び(%)	50	35 以上
温度依存 -20℃	引張強さ(N/mm ²)	1.13	0.60 以上
	伸び(%)	52	35 以上
温度依存 80℃	引張強さ(N/mm ²)	1.13	0.60 以上
	伸び(%)	60	35 以上
アルカリ温水 浸せき	引張強さ(N/mm ²)	0.94	0.40 以上
	伸び(%)	48	25 以上
熱劣化	引張強さ(N/mm ²)	1.32	0.40 以上
	伸び(%)	60	25 以上



厚生労働省指針値策定14物質不使用



A 5557



接着剤：タイルエースPro・LPro

一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘度	550Pa・s/23℃
密度	1.55g/cm ³
標準使用量 1mm厚さ塗布	1.5~2.0kg/m ²

硬化性能の目安

条 件	想定気温	添加量*	施工可能 時間(分)	5mm厚さ硬化 時間(時間)
冬 場	5℃	無し	90	72
		1袋	80	24
常 温	23℃	無し	60	24
		1袋	40	16
夏 場	35℃	無し	25	18
		1袋	20	12

*タイルアジャスト5 2kgに対するPMアクセラレーター(10g/袋)の添加量

硬化促進剤 PMアクセラレータ (10g/袋)



タイルエースシリーズは、空気中の湿気により硬化するため、内部の硬化に時間がかかります。
「PMアクセラレータ」を混合することにより、内部硬化を早めることが可能です。

使用目安：1本(2kg)に対し1袋(10g)
(最大2袋(20g)まで)

適用部材

<下地材>

●コンクリート●押出成形セメント板の不陸調整●10mm以上の不陸調整にはセメント系下地調整塗材を使用してください。●下処理したALCパネル(不陸調整は5mm以内としてください)

注意事項

●不陸調整が5mmを超える場合は、二度塗り等を行ってください(二度塗りする場合は、一度目が硬化してから塗布してください)。●10mm以上の不陸調整にはセメント系下地調整塗材を使用してください。●タイル張りにはタイルエースPro、タイルエースL Proをご使用ください(タイルアジャストが硬化してからタイル張りしてください)。●脆弱部、吸水調整材やシーラーは除去してください。●コンクリート下地は目安として含水率が8%以下に乾燥させてください。

特 徴

- 外装コンクリート系下地用 有機系下地調整塗材
- 目違いの不陸調整に適します
(一度に5mm厚さまで、最大10mm厚さまで)
- 薄塗りしてもドライアウトしない
- コンクリートの目荒し不要
(清掃は必要)
- Q-CAT(個別)有機系下地調整塗材適合品

Q-CAT(個別)有機系下地調整塗材の試験

■接着強さ試験

Q-CAT(個別) 付着強さ試験(モルタル下地)

項 目	張付材		基 準
	タイルエースPro	タイルエースL Pro	
標 準	付着強さ(N/mm ²)	0.98	0.88
	凝集破壊率(%)	100	100
低温硬化	付着強さ(N/mm ²)	1.10	1.02
	凝集破壊率(%)	100	100
アルカリ温水 浸せき	付着強さ(N/mm ²)	1.04	1.04
	凝集破壊率(%)	100	100
凍結融解	付着強さ(N/mm ²)	1.19	1.05
	凝集破壊率(%)	100	100
熱劣化	付着強さ(N/mm ²)	1.62	1.55
	凝集破壊率(%)	100	100

Q-CAT(個別) 付着強さ試験(押出成形セメント板下地)

項 目	張付材		基 準
	タイルエースPro	タイルエースL Pro	
標 準	付着強さ(N/mm ²)	0.97	0.93
	凝集破壊率(%)	100	100
低温硬化	付着強さ(N/mm ²)	1.11	1.08
	凝集破壊率(%)	100	100
アルカリ温水 浸せき	付着強さ(N/mm ²)	1.13	1.13
	凝集破壊率(%)	100	100
凍結融解	付着強さ(N/mm ²)	1.22	1.14
	凝集破壊率(%)	100	100
熱劣化	付着強さ(N/mm ²)	1.40	1.45
	凝集破壊率(%)	100	100

■被膜物性試験

Q-CAT(個別) 皮膜物性

項 目	結 果	基 準
標 準	引張強さ(N/mm ²)	0.92
	伸び(%)	76
温度依存 -20℃	引張強さ(N/mm ²)	0.75
	伸び(%)	104
温度依存 80℃	引張強さ(N/mm ²)	0.68
	伸び(%)	97
アルカリ温水 浸せき	引張強さ(N/mm ²)	1.12
	伸び(%)	48
熱劣化	引張強さ(N/mm ²)	0.99
	伸び(%)	63

施工方法

使用製品：タイルアジャスト・タイルアジャスト5

下地の確認、検査



下地の調整、清掃



有機系下地調整塗材の取り出し



有機系下地調整塗材の塗布



有機系下地調整塗材の養生



下地の確認、清掃

(1)下地の確認、検査

下地調整前に下記項目について検査を行ってください。

- ・ 浮きなど、仕上がり面における欠陥の有無
- ・ 硬化及び乾燥の程度
- ・ 汚れの付着
- ・ 下地面の精度(5mm以内)

(2)下地の調整、清掃

浮きなどは補修し、下地を十分乾燥させてください。(夏期で一週間以上、冬期二週間以上)下地表面の汚れ(ゴミ、ほこり、水分、油分など)や型枠離型剤、金属の錆、コンクリートのレタンスは取り除いてください。不陸が10mmを超える場合は、あらかじめモルタル系下地調整材等で調整してください。

JIS A 6916(建築用下地調整塗材)のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用してください。

(3)有機系下地調整塗材の取り出し

有機系下地調整塗材のフィルムパックの端部をカッターやニッパー等で開封してください。必要量を手やコテでコテ台に絞り出してください。袋に残った有機系下地調整塗材はコテでしごきだしてください。

(4)有機系下地調整塗材の塗布

有機系下地調整塗材を下地によくなじませるようにコテ圧をかけて塗布してください。一度に塗布できる厚さはタイルアジャストの場合は10mm、タイルアジャスト5の場合は5mmとなります。それを超えると、だれたり、硬化出来なくなります。

壁面に直射日光が当たったり、下地が濡れていると調整塗材が膨れる場合があります。

可使時間の目安は、タイルアジャストの場合は15分以内/35℃、30分以内/23℃。タイルアジャスト5の場合は25分以内/35℃、60分以内/23℃になりますのでこの時間内に塗布を終えてください。(直射日光が当たる場合は可使時間が短くなる場合がありますので注意が必要です)

(5)有機系下地調整塗材の養生

23℃では24時間後、5℃では72時間後まで養生を行ってください。

(6)下地の確認・清掃

タイル張りの前に、有機系下地調整塗材が硬化していることを確認してください。

表面に汚れなどが付着している場合は清掃等実施してください。

タイル施工に必要な下地精度に仕上がっているか確認ください。

取り出し



下地の確認



塗布



完成



使用上の注意

1. 下地調整施工は5～35℃の環境温度で行ってください。
2. 降雨時、降雪時などで、接着面が濡れているような時の下地調整施工は避けてください。
3. 下地調整施工に使用した塗布道具などは、有機系下地調整塗材が硬化する前に有機溶剤(シンナー、アセトン)を湿らせたウエス等でふき取ってください。
4. 有機系下地調整塗材が、皮膚などに付着したときは、速やかに石鹸などで洗ってください。
5. 本包装には防湿機能を持たせてありますので、ご使用時までは開封しないでください。
6. 下地の防水は、下地調整施工とは別に行ってください。
7. 有機系下地調整塗材は、5～35℃の直射日光が当たらない場所に保管してください。
8. 有機系下地調整塗材は湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
9. 有機系下地調整塗材は本用途以外には使用しないでください。
10. 有機系下地調整塗材を使いきってから廃棄してください。残っている場合は硬化させてから廃棄してください。廃棄する場合は地域の条例に基づき処理をしてください。
11. シーリング材は、変成シリコン系を使用してください。
12. 詳細は施工マニュアルをご覧ください。
13. タイル接着には必ずタイルエースProあるいはタイルエースL Proをご使用ください。
14. 吸水調整材を施した下地には使用しないでください。
15. 有機系下地調整塗材が十分に硬化してからタイル接着を行ってください。

施工方法

使用製品：タイルエースPro・タイルエースLPro

下地の検査、調整、清掃

タイル割付、墨出し、糸張り

接着剤の取出し

接着剤の塗布

タイル張り

(紙剥かし)

目地直し

タイル清掃

養生

目地詰め

後片付け

検査

(1) 下地の検査、調整、清掃

タイル張りに先立ち、下地の浮きの有無、密着性・強度を確認してください。浮きは補修し、下地を十分乾燥してください。強度不足は補強してください。下地の汚れ(ゴミ、ほこり、水分、油など)や型枠離型剤、金属の錆、コンクリートのレイタンスは取り除いてください。不陸が大きい場合は、弾性下地調整塗材として、タイルアジャスト(不陸10mm以内)、タイルアジャスト5・タイルエースPro(不陸5mm以内)を使用するかJIS A 6916のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用してください。
※吸水調整材やシーラーには接着剤がつかないので、接着剤が直接触れる箇所には使用しないでください。

(2) 接着剤の取出し

接着剤の端部をカッター又はニッパー等で開封してください。接着剤の必要量を手やコテを用いて絞り出してください。袋に残った接着剤はコテでしごき出してください。

(3) 接着剤の塗布

下地によくなじませるように塗りつけた後、クシ目ゴテを用いて、しっかりクシ目を立ててください。使用するコテ、塗布方法などは、仕上げ材等の種類に応じて事前に検討し、適切な方法を選んでください。

※タイルは水湿しないので張り合わせてください。

(4) タイル張り

タイルの張り付けは、モミ込むように押さえつけ、さらにタタキ板を用いてタタキ押さえをするか、ヴィブラート等の工具を用いて圧着してください。可使時間の目安は、塗布後30分以内/35℃、60分以内/23℃になりますのでこの時間内にタイルを張り終えてください。(直射日光が当たる場合は可使時間が短くなることがありますので注意が必要です)タイル張り付け後、2～3㎡毎にタイルを一度はがし接着剤の塗布量が60%(タイル裏面全体に均等に接着)以上であることを確認してください。

(5) 目地直し

接着剤の可使時間内に目地直しを行ってください。

(6) タイル清掃、養生

接着剤がタイルに付着した場合は、接着剤の硬化後にカッター等で接着剤が薄くなるまで削ってください。残った接着剤は、砂消し等で削って除去してください。硬化前は、有機溶剤(シンナー、アセトン)で除去もできますが、接着剤が広がって薄く残り、経時での汚染を引き起こす場合があります。

(7) 目地詰め

目地詰めの場合は、接着剤が完全に硬化した後(通常は一日以上)に行ってください。冬場(低温時)は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めを行ってください。

※より詳細な施工方法は施工マニュアルを参照ください。

標準使用量: 3mm櫛目(内装)平滑下地 1.5～1.9kg/㎡

5mm櫛目(外装)平滑下地 2.0～2.5kg/㎡

接着剤の取出し



接着剤の塗り付け



クシ目立て



タイル張り付け



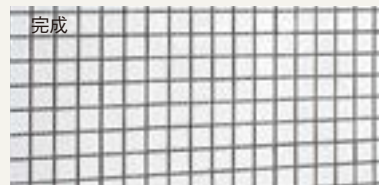
叩き押さえ



紙剥かし



完成



使用上の注意

1. 接着施工は5～35℃の環境温度で行ってください。
2. 降雨時、降雪時などで、接着面が濡れているような時の接着施工は避けてください。
3. 接着施工に使用した塗布道具などは、接着剤が硬化する前に有機溶剤(シンナー、アセトン)を湿らせたウエス等でふき取ってください。
4. 接着剤が、皮膚などに付着したときは、速やかに石鹸などで洗ってください。
5. 本包装には防湿機能を持たせてありますので、ご使用時までは開封しないでください。
6. 下地の防水は、接着施工とは別に行ってください。
7. 接着剤は、5～35℃の直射日光が当たらない場所に保管してください。
8. 接着剤は湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
9. 接着剤は本用途以外には使用しないでください。
10. 接着剤を使いきってから廃棄してください。残っている場合は硬化させてから廃棄してください。
11. シーリング材は、変成シリコン系を使用してください。

取扱い上の注意

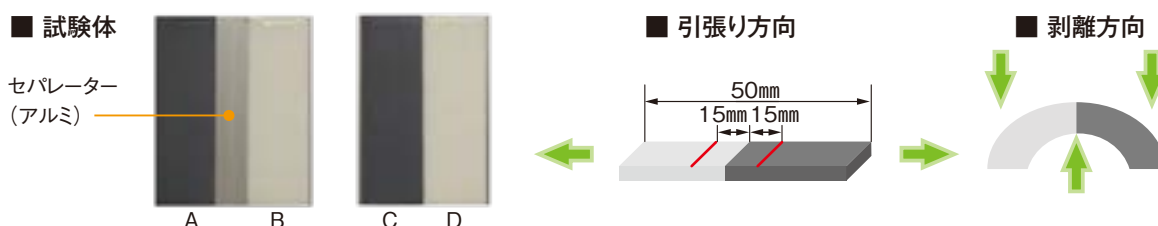
1. 皮膚に触れると、体質により肌荒れの原因となる場合があります。ゴム手袋などの保護具を使用してください。
2. 皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸等を用いて洗い落としてください。
3. 目に入った場合は水でよく洗い流し、異常のある場合は医師の診察/手当を受けてください。
4. 作業場所はよく換気をしてください。
5. 火気を近づけないでください。
6. 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)を参照ください。

2成分形シーリング材

シーリングタイプ	POSシール タイプII	POSシール タイプII NB	POSシール タイプII 超耐候 S525	EXCEL II	ポリシール N	S751NB
						
主成分	変成シリコーン	変成シリコーン	変成シリコーン	シリル化 アクリレート	ポリサルファイド	ポリウレタン
	MS-2	MS-2	MS-2	SA-2	PS-2	PU-2
JIS A 5758 による区分	F-25LM -9030	F-25LM -9030	F-25LM -9030	G・F-25LM -10030	G・F-25LM -8020	F-25LM -8020

(日本接着剤工業会規格) JAI17 シーリング材と接着剤の相互汚染性試験

- ①目 視：目視にて、先打ち材と後打ち材が接触しないもの(A/B)、接触するもの(C/D)の表面を比較する。
- ②指 触：指触にて、先打ち材と後打ち材が接触しないもの(A/B)、接触するもの(C/D)の表面を比較する。
- ③引張り：引張り方向に手で引張り破壊するか確認する。破壊しなかった場合剥離方向にも力を加え観察する。

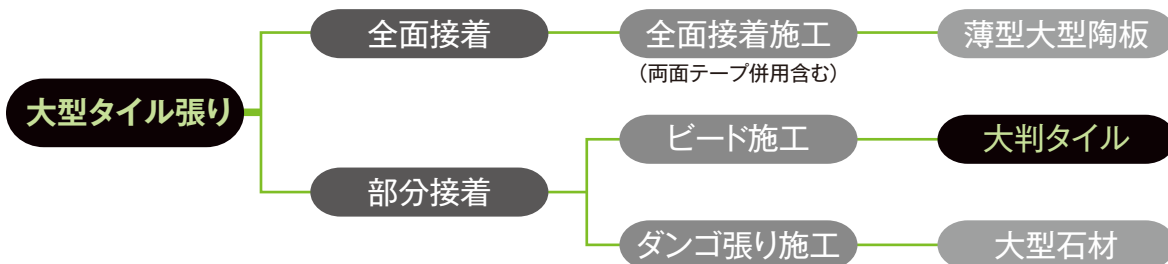


先打ち 後打ち	試験項目	シーリング材の種類						評価基準
		POSシール タイプII	POSシール タイプII NB	POSシール タイプII 超耐候 S525	EXCEL II	ポリシール N	S751NB	
接着剤を 先打ち	①目視	A.汚れ	○	○	○	○	○	○: 汚れなし
		B.界面での状態確認	○	○	○	○	○	○: 剥離なし
		C.表面ブリード	○	○	○	○	○	○: ブリードなし
		D.色相	○	○	○	○	○	○: 変化なし
	②指触	B.界面での状態確認	○	○	○	○	○	○: 剥離なし
		C.表面ブリード	○	○	○	○	○	○: ブリードなし
		E.硬さ	○	○	○	○	○	○: 変化なし
		F.タック	○	○	○	○	○	○: 変化なし
	③引張り	引張り方向	○	○	○	○	○	○: 破壊無し
		剥離方向	CFシ	CFシ	CFシ	CFシ	AF	※破断箇所参照
シールを 先打ち	①目視	A.汚れ	○	○	○	○	○	○: 汚れなし
		B.界面での状態確認	○	○	○	○	○	○: 剥離なし
		C.表面ブリード	○	○	○	○	○	○: ブリードなし
		D.色相	○	○	○	○	○	○: 変化なし
	②指触	B.界面での状態確認	○	○	○	○	○	○: 剥離なし
		C.表面ブリード	○	○	○	○	○	○: ブリードなし
		E.硬さ	○	○	○	○	○	○: 変化なし
		F.タック	○	○	○	○	○	○: 変化なし
	③引張り	引張り方向	○	○	○	○	○	○: 破壊無し
		剥離方向	CF接	CF接	CF接	CF接	CF接	※破断箇所参照

【破断箇所】CFシ: シーリング材の凝集破壊、CF接: 接着剤の凝集破壊、AF: 界面破壊、未: シール未硬化

(2021年3月現在)

内装タイル・大判タイル張り工法・石材張り工法



全面接着施工



弾性接着剤「タイルエースF」を下地になじませるように塗り付けた後、クシ目ゴテを用いて、しっかりクシ目を立てて全面に塗布する方法です。
(仮止めが必要な場合は両面テープを併用してください。)



ビード施工



弾性接着剤「タイルエースF」を内装タイル・大判タイルに150mmピッチでビード形状で塗布して壁面へ張付ける工法です。

金物を併用することで、弾性接着剤の応力を緩和するとともに、タイルの落下を物理的に防止します。



ダンゴ張り施工



弾性接着剤「タイルエース石材用」を石材にダンゴ形状で塗布して張付ける工法です。

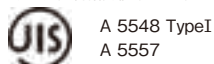
接着剤の張り代をとれるため、タイルの反りや下地の不陸を抑えて施工することが可能です。





JIS A 5548 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合

厚生労働省指針値策定14物質不使用



一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘度	528Pa・s/23℃
密度	1.52g/cm ³
張付け可能時間	40分/23℃ 15分/35℃
標準使用量 ビード塗布φ10mm 5mm櫛目	1.6本/m ² (500mL規格) 2.0~2.5kg/m ²

適用部材

<仕上げ材>

●セラミックタイル

<下地材>

●コンクリート、モルタル下地 (目安として含水率が8%以下に乾燥していること) ●押出成形セメント板・ALCパネル (下地処理必要) ●無塗装サイディング (当社指定外のサイディング板についてはご確認ください) ●合板 (I類合板) ●ケイ酸カルシウム板 (比重1.0以上) ●石膏ボード ●フレキシブルボード (オートクレープ処理品)

※: 下地は適用箇所に応じて適切に選択してください。

適用できない箇所

●直火が当たる箇所 ●アスファルト下地 ●吸水調整材が塗布された箇所 ●浴槽内など常時水に浸漬される箇所 ●吸水調整材やシーラーは除去してください。

注意事項

●石材は裏面にあらかじめプライマーMP2000を塗布してください (必要に応じてタイルエース石材用を使用してください)。●収縮等の動きが大きい乾式ボード下地にタイルをまたがって施工する場合は、板間にブチルテープを張り付けて絶縁してください。●現場塗布型のFRP防水は接着できないことがあるので事前に確認してください。●塗装されている下地は施工できないことがありますので事前に確認してください。●改修の場合は事前に弊社に相談してください。●コンクリートブロックの場合は下地を作成するかプライマーMP2000を使用してください。

金物

本工法は基本的に金物との併用となります。

外装: <高さ3m未満> 自重受け金物*1

<高さ3m以上> 緊結金物*2

内装: <高さ3m未満> 不要 (ずれ止めは必要)

<高さ3m以上> 緊結金物*1

*1: タイルの自重によるせん断力を上回る保持力の金物

*2: タイルの自重によるせん断力、風圧力、地震時の慣性力の総和を上回る保持力の金物

特徴

- 内・外装 壁タイル張り用接着剤
- 速硬化のため、大判タイル張りに適します
- 低臭のため、内装に適します
- タイルサイズ600×900mmまで

JIS試験結果

■接着強さ試験結果

JIS A 5548 TypeI セラミックタイル張り内装用有機系接着剤

項目	接着強さ (N/mm ²)	基準
標準	2.04	0.60 以上
温水	0.83	0.30 以上
熱劣化	2.09	0.30 以上
低温硬化	1.97	0.30 以上
アルカリ水中	2.01	0.30 以上

JIS A 5557 外装タイル張り用有機系接着剤

項目	結果	基準
標準	接着強さ (N/mm ²)	1.44
	凝集破壊率 (%)	100
低温硬化	接着強さ (N/mm ²)	1.24
	凝集破壊率 (%)	100
アルカリ温水浸せき	接着強さ (N/mm ²)	1.05
	凝集破壊率 (%)	100
凍結融解	接着強さ (N/mm ²)	1.32
	凝集破壊率 (%)	100
熱劣化	接着強さ (N/mm ²)	2.27
	凝集破壊率 (%)	100

■被膜物性試験

JIS A 5557 皮膜物性

項目	結果	基準
標準	引張強さ (N/mm ²)	1.00
	伸び (%)	100
温度依存 -20℃	引張強さ (N/mm ²)	1.04
	伸び (%)	60
温度依存 80℃	引張強さ (N/mm ²)	0.93
	伸び (%)	61
アルカリ温水浸せき	引張強さ (N/mm ²)	0.99
	伸び (%)	82
熱劣化	引張強さ (N/mm ²)	0.77
	伸び (%)	73

各種下地への接着性

■内装タイル: JIS A 5548 標準養生条件

下地	接着強さ (N/mm ²)
ケイ酸カルシウム板 (比重1.0)	0.86
石膏ボード	0.31
ラワン合板	0.97
スレート	1.32

■外装タイル: JIS A 5557 標準養生条件

下地	接着強さ (N/mm ²)
押出成形セメント板	1.25
アルミ (JIS A 5052P)	0.55
亜鉛メッキ鋼板	0.66
SUS304 (ヘアライン)	0.58



一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘 度	550Pa・s/23℃
密 度	1.56g/cm ³
張付け可能時間	35分/23℃ 10分/35℃
標準使用量 ダンゴ張り 張り代10mm ビード塗布φ10mm	3~4kg/m ² 1.6本/m ² (500mL規格)

適用部材

<仕上げ材>

●大理石、御影石、砂岩、石英等の各種天然石（裏面処理された石材は事前に接着性の確認をしてください）

<下地材>

●コンクリート、モルタル下地（目安として含水率が8%以下に乾燥していること）●押出成形セメント板●ALCパネル（下地処理必要）●無塗装サイディング（当社指定外のサイディング板についてはご確認ください）●合板（I類合板）●ケイ酸カルシウム板（比重1.0以上）●石膏ボード●フレキシブルボード（オートクレープ処理品）

※：合板、石膏ボードの場合、変形が少ないように設置してください。
※：下地は適用箇所に応じて適切に選択してください。

適用できない箇所

●直火が当たる箇所●アスファルト下地●吸水調整材が塗布された箇所●浴槽内など常時水に浸漬される箇所●吸水調整材やシーラーは除去してください。

注意事項

●不陸調整施工をする場合は、JISA6916「建築用下地調整塗材」のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用してください。●モルタル表面は金銀仕上げにしてください。●基本的には下地の各種ジョイント（ワーキングジョイント及びノンワーキングジョイント）では石材をまたがって下地に施工しないでください。●現場塗布型のFRP防水は接着できないことがあるので事前に確認してください。●塗装されている下地は施工できないことがありますので事前に確認ください。●改修の場合は事前に弊社に相談してください。●コンクリートブロックの場合は下地を作成するかプライマーMP2000を使用してください。

金物

本工法は基本的に金物との併用となります。

- 外装：〈高さ3m未満〉自重受け金物*1
〈高さ3m以上〉緊結金物*2
- 内装：〈高さ3m未満〉不要（ずれ止めは必要）
〈高さ3m以上〉緊結金物*1

*1：石材の自重によるせん断力を上回る保持力の金物

*2：石材の自重によるせん断力、風圧力、地震時の慣性力の総和を上回る保持力の金物

特 徴

- 内・外装 壁石材張り用接着剤
- 石材低汚染タイプ
- 低臭のため、内装に適します
- 石材サイズ600mm角まで
- 石材厚み5~30mm以内

接着強さ試験結果

JIS A 5557に準ずる接着強さ試験（石材×モルタル）

項 目		黒御影	大理石
標 準	接着強さ(N/mm ²)	1.74	1.68
	凝集破壊率(%)	100	100
アルカリ温水 浸せき	接着強さ(N/mm ²)	1.57	1.45
	凝集破壊率(%)	100	100
凍結融解	接着強さ(N/mm ²)	1.32	1.19
	凝集破壊率(%)	100	100
熱劣化	接着強さ(N/mm ²)	2.37	2.54
	凝集破壊率(%)	100	100

各種石材への接着性（石材×モルタル、JIS A 5557標準養生条件）

石材の種類	接着強さ(N/mm ²)	破壊の状況※
ピアンコカラ	1.81	A100
黒御影石	1.74	A100
白御影石	1.73	A95B5

※ A：接着剤の凝集破壊 B：石材の凝集破壊

各種下地への接着性（JIS A 5557標準養生条件）

下 地	接着強さ(N/mm ²)
押出成形セメント板	1.24
ALC	0.43
スレート	1.07
ラワン合板	0.92
ケイ酸カルシウム板（比重1.0）	1.03
石膏ボード	0.31

各種石材への汚染性



石 材		表面状態
大理石	ピアンコカラ	汚染無し
	ポテチーノ	汚染無し
花崗岩	黒御影	汚染無し
	白御影	汚染無し
	バルチック	汚染無し
石灰岩	錆び石	汚染無し
	ライムストーン	汚染無し
凝灰岩	大谷石	汚染無し

施工方法

使用製品：タイルエースF

下地の検査、調整、清掃

*1
緊結線のタイルへの取付け

*2
自重受けの壁面への固定

接着剤の取出し

接着剤の塗布

タイルの張り付け

*1
緊結線の壁面への固定

目地直し

タイル清掃

養生

目地詰め

後片付け

検査

*1:緊結線による固定をする場合
*2:自重受けを行う場合

接着剤ビード状塗布 施工方法

接着剤をビード状塗布にて施工してください。

(1)下地の検査、調整、清掃

タイル張りに先立ち、下地の浮きの有無、密着性・強度を確認してください。浮きは補修し、下地を十分乾燥してください。強度不足は補強してください。下地の汚れ(ゴミ、ほこり、水分、油など)や型枠離型剤、金属の錆、コンクリートのレイテンスは取り除いてください。不陸が大きい場合は、JIS A 6916のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用してください。

※吸水調整材やシーラーには接着剤がつかないので、接着剤が直接触れる箇所には使用しないでください。

(2)接着剤の取り出し

タイルエースFのフィルムパックの端部をカッターまたはニッパー等で開封してください。専用のガン(クリーンバックガンCG)にセットしてください。又必要に応じてノズルの先端をカットしてください。開封した接着剤は直ぐに使い切ってください。パック開封後の保存は出来ません。

(3)接着剤の塗布

接着剤は下記を目安に、タイルの裏面に塗布してください。

接着剤の塗布量…<下地の精度が長さ1000mmにつき約3mm以内の場合>接着剤の塗布高さは5mm以上、<下地の精度が長さ1000mmにつき約3~6mm以内の場合>接着剤の塗布高さは10mm以上。接着剤の塗布割合…タイルの裏面に150mm間隔で壁面の上下(縦)方向に塗布してください。塗布量の目安は、ノズル口径がΦ10mmの場合、約1.6本/m²(500mL規格:ロス分含まず)です。

(4)タイルの張り付け

張り付け…接着剤を塗布後直ちに、タイルを張り付けてください。タイルは下から積み上げます。タイルの張り付けは接着剤の可使時間内に行ってください。(タイルエースFの可使時間の目安は塗布後、15分以内/35℃、40分以内/23℃です。タイルは水湿しないください。濡れると接着できなくなります。圧縮…タイルは仕上げ材の面精度の基準位置までモミ込むように押さえつけてください。緊結線の固定…タイルの圧縮が終了後、緊結線を壁面に固定します。自重受け金物を使用する場合は、タイルを自重受け金物で支えるように張り付けます。

(5)目地直し

接着剤の可使時間内に目地直しを行ってください。

(6)タイルの清掃

接着剤の硬化後、カッター等で接着剤が薄くなるまで削ってください。残った接着剤は、砂けし等で削って除去してください。硬化前は、有機溶剤(シンナー、アセトン)で除去もできますが、接着剤が広がって薄く残り、タイルの経時での汚染を引き起こす場合があります。

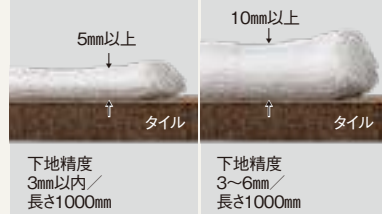
(7)目地詰め

接着剤が硬化(接着剤施工翌日以降)した後、目地詰め作業を行ってください。冬場(低温時)は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めを行ってください。

クリーンバックガンCGにセット



接着剤の塗布



タイルの裏面に塗布



タイルの張り付け



完成



使用上の注意

1. 接着施工は、5~35℃の環境温度で行ってください。(タイルエースFは硬化が早いので、高温時は避けてください)
2. 降雨時、降雪時などで、接着面が濡れているような時の接着施工は避けてください。
3. 接着施工に使用した塗布道具などは、接着剤が硬化する前に有機溶剤(シンナー、アセトン)を湿らせたウエス等でふき取ってください。
4. 接着剤が、皮膚などに付着したときは、速やかに石鹸などで洗ってください。
5. 本包装には防湿機能を持たせてありますので、ご使用時までには開封しないでください。
6. 下地の防水は、接着施工とは別に行ってください。
7. 接着剤は、5~35℃の直射日光が当たらない場所に保管してください。
8. 接着剤は湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
9. 接着剤は本用途以外には使用しないでください。
10. 接着剤を使いきってから廃棄してください。残っている場合は硬化させてから廃棄してください。廃棄する場合は地域の条例に基づき処理をしてください。
11. シーリング材は、変成シリコン系を使用してください。
12. 接着剤が露出する場合は必ず目地詰めを行ってください。
13. タイル間の目地部をシーリング充填する場合は、最下部及び開口部上には水抜きを設置してください。

取扱い上の注意

1. 皮膚に触れると、体質により肌荒れの原因となる場合があります。ゴム手袋などの保護具を使用してください。
2. 皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸等を用いて洗い落としてください。
3. 目に入った場合は水でよく洗い流し、異常のある場合は医師の診察/手当を受けてください。
4. 作業場所はよく換気をしてください。
5. 火気を近づけないでください。
6. 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)を参照ください。

施工方法

使用製品：タイルエース石材用



*1: 緊結線による固定をする場合
*2: 自重受けを行う場合

接着剤ダンゴ状塗布 施工方法

張り代（ふかし代・接着剤厚み）が7mmを超える場合接着剤をダンゴ状塗布にて施工してください。※接着剤の張り代が7mm以内の場合は、接着剤をビード状に塗布して施工してください。（タイルエースFの接着剤ビード状塗布の施工手順を参照ください）※吸水調整材やシーラーには接着剤がつかないので、接着剤が直接触れる箇所には使用しないでください。

(1) 下地の検査、調整、清掃

石材張りに先立ち、下地の浮きの有無、密着性・強度を確認してください。浮きは補修し、下地を十分乾燥してください。強度不足は補強してください。下地の汚れ（ゴミ、ほこり、水分、油など）や型枠離型剤、金属の錆、コンクリートのレタンスは取り除いてください。不陸が大きい場合は、JIS A 6916のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用してください。※吸水調整材やシーラーには接着剤がつかないので、接着剤が直接触れる箇所には使用しないでください。

(2) 接着剤の取り出し

タイルエース石材用のフィルムバックの端部をカッターまたはニッパー等で開封してください。専用のガン（クリーンバックガンCG）にセットしてください。又必要に応じてノズルの先端をカットしてください。開封した接着剤は直ぐに使い切ってください。バック開封後の保存は出来ません。

(3) 接着剤の塗布

専用ガンを用いて、石材に接着剤をダンゴ状に盛り上げて塗布し、ダンゴ1点あたりの接着剤の大きさは直径約50mm以上（圧縮時直径70mm程度）となるように塗布してください。

接着剤の塗布例…＜300mm角の場合＞5点塗布、＜400mm角の場合＞9点塗布、＜600mm角の場合＞20点塗布 ・張り代とダンゴの高さ…＜張り代10mmの場合＞ダンゴの高さ20mm以上（60g/ダンゴ1点当たり）、＜張り代15mmの場合＞ダンゴの高さ25mm以上（90g/ダンゴ1点当たり）、＜張り代20mmの場合＞ダンゴの高さ30mm以上（120g/ダンゴ1点当たり）。接着剤標準使用量…＜張り代10mmの場合＞1㎡当たり接着剤4～5本（3～4kg）、＜張り代15mmの場合＞1㎡当たり接着剤6～7本（約5kg）、＜張り代20mmの場合＞1㎡当たり接着剤約9本（約7kg）※石材裏面に補強処理のない場合は、石材の割れ防止のため、下から1.5m程度までダンゴ数（ビード塗布の場合ビード数）を2倍にしてください。

(4) 石材の張り付け

張り付け…接着剤を塗布後直ちに、石材を張り付けてください。石材の張り付けは接着剤の可使時間内に行ってください。（タイルエース石材用の可使時間の目安は塗布後、10分以内/35℃、35分以内/23℃です）（原則として石材1枚ずつの施工とし、接着剤の塗り置きはしないでください）石材の張り付けは原則下段から行います。石材を積み上げる時、下段の石材がぐらついて施工し難い場合は止水セメントや速硬化エポキシ系接着剤等で仮固定をしてください。石材の自重を緩和する措置として自重受け金具等を高さ1.5m程度の間隔に設けてください。圧縮…石材は仕上げ材の面精度の基準位置までモミ込むように押さえつけてください。緊結線の固定…石材の圧縮が終了後、緊結線を壁面に固定します。

(5) 目地直し

接着剤の可使時間内に目地直しを行ってください。

(6) 石材の清掃

接着剤の硬化後、カッター等で接着剤が薄くなるまで削ってください。残った接着剤は、砂いれ等で削って除去してください。硬化前は、有機溶剤（シンナー、アセトン）で除去もできますが、接着剤が広がって薄く残り、石材の経時での汚染を引き起こす場合があります。

(7) 目地詰め

接着剤が硬化（接着剤施工翌日以降）した後、目地詰め作業を行ってください。冬場（低温時）は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めを行ってください。



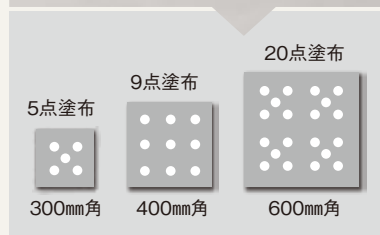
クリーンバックガンCGにセット



接着剤の塗布



ダンゴ状塗布



石材の張り付け



完成

施工上の注意

1. 接着施工は、5～35℃の環境温度で行ってください。
2. 降雨時、降雪時などで、接着面が濡れているような時の接着施工は避けてください。
3. 接着施工に使用した塗布道具などは、接着剤が硬化する前に有機溶剤（シンナー、アセトン）を湿らせたウエス等でふき取ってください。
4. 接着剤が、皮膚などに付着したときは、速やかに石鹸などで洗ってください。
5. 本包装には防湿機能を持たせてありますので、ご使用時までは開封しないでください。
6. 下地の防水は、接着施工とは別に行ってください。
7. 接着剤は、5～35℃の直射日光が当たらない場所に保管してください。
8. 接着剤は湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。

取扱い上の注意

1. 皮膚に触れると、体質により肌荒れの原因となる場合があります。ゴム手袋などの保護具を使用してください。
2. 皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸等を用いて洗い落としてください。
3. 目に入った場合は水でよく洗い流し、異常のある場合は医師の診察/手当てを受けてください。

9. 接着剤は本用途以外には使用しないでください。
10. 接着剤を使いきってから廃棄してください。残っている場合は硬化させてから廃棄してください。廃棄する場合は地域の条例に基づき処理をしてください。
11. シーリング材は、変成シリコン系で石材表面に汚れを発生しないものを使用してください。
12. 接着剤が露出する場合は必ず目地詰めを行ってください。
13. 石材間の目地部もシーリング充填する場合は、最下部及び開口部上には水抜きを設置してください。
14. 石材の種類によっては、汚染する場合がありますので事前に確認いただくか、弊社までお問合せください。

4. 作業場所はよく換気をしてください。
5. 火気を近づけないでください。
6. 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート（SDS）を参照ください。

床タイル張り工法



2018年9月竣工 (株)フジタ技術センター

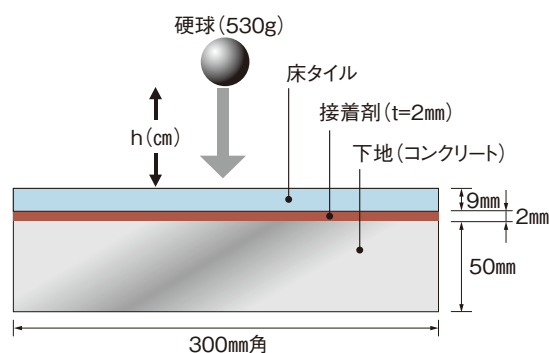
弾性接着剤「タイルエース床用／床リフォーム用」をもちいて、屋内、半屋外床面に全面接着剤張りで施工する工法です。

タイルエース床用／床リフォーム用は下地の動きに対して

追従性があるのでタイル割れを防止する弾性接着剤本来の特徴を有しながら、タイル面に荷重がかかった際に接着剤がたわんでタイル割れが起こりにくい適度な硬さを有しています。

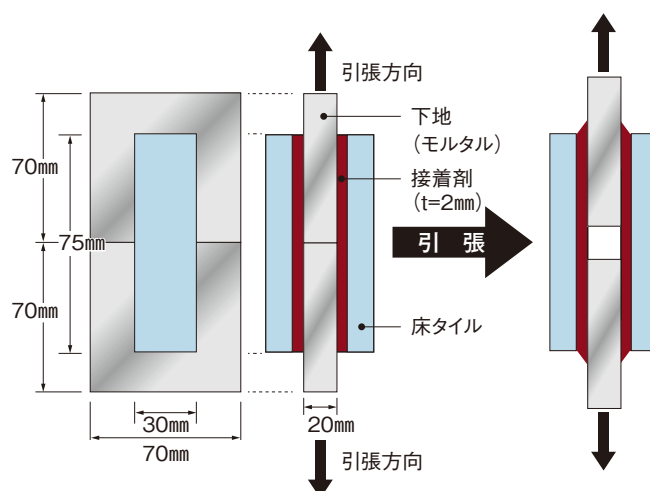
衝撃性(落球試験)

床タイル施工試験体に鋼球を指定高さから落下させ、タイルに亀裂が入る高さ(h)を測定します。



下地クラック追従性(ゼロスパンテンション)

床タイルを張り合せた試験体の下地側を引張り、クラック発生時に接着剤が追従できる(タイルが割れない)範囲を確認する試験です。試験体が破壊されるまでの下地の変位を測定します。





JAIA F☆☆☆☆
4VOC基準適合

厚生労働省指針値策定14物質不使用

一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘度	525Pa・s/23℃
密度	1.46g/cm ³
張付け可能時間	40分/23℃ 15分/35℃
標準使用量*	
5mm櫛目	1.9kg(1本)/m ²
7mm櫛目	3.8kg(2本)/m ²

* 1.9kg/本

適用部材

<仕上げ材>

●床タイル(大判タイル、樹脂補強製品は事前に確認してください)

<下地材>

●コンクリート、モルタル下地(目安として含水率が8%以下に乾燥していること)●押出成形セメント板●ALCパネル(下地処理必要)●合板(I類合板)●工場で成形されたFRP(表面をサンディングしてください)

※:合板の場合、変形が少ないように設置してください。

※:下地は適用箇所に応じて適切に選択してください。合板はたわみが少なくなるように選定の上、施工してください。

適用できない箇所

●直火が当たる箇所●アスファルト下地●吸水調整材が塗布された箇所●浴槽内など常時水に浸漬される箇所●吸水調整材やシーラーは除去してください。

注意事項

●400mm角以上の大判タイルの場合は、事前に施工方法などを確認してください。●石材の場合、裏面にあらかじめプライマーMP2000を塗布してください。●現場塗布型のFRP防水は接着できないことがあるので事前に確認してください。●塗装されている下地は施工できないことがありますので事前に確認してください。●改修の場合は事前に弊社に相談してください。●不陸調整施工をする場合は、JISA6916「建築用下地調整塗材」のCM-2に適合する規制調合モルタルを使用してください。●モルタル表面は金鍍仕上げにしてください。●雨水がかかる場所及び下地材に水分が浸透する可能性がある場合は、下地にプライマーMP2000を塗布してください。

下地クラック追従性(ゼロスパンテンション)

	タイルエース床用	エポキシ系接着剤
最大変位(mm)	0.86	0.02
破断箇所	タイルエース床用の凝集破壊	モルタルの凝集破壊

接着剤厚み2mm

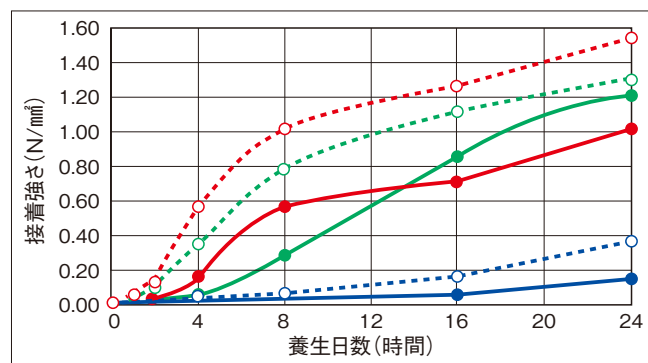
床タイル(30×75×12mm)×モルタル(20×70×70mm)

特徴

- 内装(半屋外) 床タイル張り用接着剤
- 微弾性のため床タイルが割れにくいです
- 低臭タイプのため、内装に適します

硬化性能の目安

JIS A 5557 接着強さ試験に準拠し、各養生日数経過時の引張接着強さを測定



● 5°C、促進剤無し ● 5°C、促進剤2袋(20g)/本
● 23°C50%、促進剤無し ● 23°C50%、促進剤2袋(20g)/本
● 35°C50%、促進剤無し ● 35°C50%、促進剤2袋(20g)/本

硬化促進剤 PMアクセラレータ (10g/袋)



タイルエースシリーズは、空気中の湿気により硬化するため、内部の硬化に時間がかかります。

「PMアクセラレータ」を混合することにより、内部硬化を早めることが可能です。

使用目安：1本(2kg)に対し1袋(10g)
(最大2袋(20g)まで)

接着強さ試験結果

JIS A 5548 TypeII セラミックタイル張り内装用接着剤

項目	接着強さ(N/mm ²)	基準
標準	1.24	0.60 以上
乾燥・水中	1.66	0.30 以上
熱劣化	1.96	0.30 以上
低温硬化	1.47	0.30 以上
アルカリ水中	1.30	0.30 以上

耐衝撃性(落球試験)

仕上材厚み	タイルエース床用	タイルエースPro
9mm	25~30cm	5~10cm

300mm角床タイル、530g鋼球



厚生労働省指針値策定14物質不使用

一般性状

主成分	変成シリコン樹脂
粘 度	480Pa・s/23℃
密 度	1.57g/cm ³
張付け可能時間	30分/23℃ 25分/40℃
標準使用量*	
5mm櫛目	2.0~2.5kg/m ²
7mm櫛目	4.0~5.0kg/m ²

*2.0kg/本

適用部材

<仕上げ材>

●床タイル(大判タイル、樹脂補強製品は事前に確認してください)

<下地材>

●コンクリート、モルタル下地(目安として含水率が8%以下に乾燥していること)●押出成形セメント板●ALCパネル(下地処理必要)●合板(I類合板)●工場で成形されたFRP(表面をサンディングしてください)

※:合板の場合、変形が少ないように設置してください。

※:下地は適用箇所に応じて適切に選択してください。合板はたわみが少なくなるように選定の上、施工してください。

適用できない箇所

●直火が当たる箇所●アスファルト下地●吸水調整材が塗布された箇所●浴槽内など常時水に浸漬される箇所●吸水調整材やシーラーは除去してください。

注意事項

●400mm角以上の大判タイルの場合は、事前に施工方法などを確認してください。●石材の場合、裏面にあらかじめプライマーMP2000を塗布してください。●現場塗布型のFRP防水は接着できないことがあるので事前に確認してください。●塗装されている下地は施工できないことがありますので事前に確認してください。●改修の場合は事前に弊社に相談してください。●不陸調整施工をする場合は、JISA6916「建築用下地調整塗材」のCM-2に適合する規制調合モルタルを使用してください。●モルタル表面は金鍍仕上げにしてください。●雨水がかかる場所及び下地材に水分が浸透する可能性がある場合は、下地にプライマーMP2000を塗布してください。

下地クラック追従性(ゼロスパンテンション)

	タイルエース床リフォーム用	エポキシ系接着剤
最大変位(mm)	1.43	0.02
破断箇所	タイルエース床リフォーム用の凝集破壊	モルタルの凝集破壊

接着剤厚み2mm

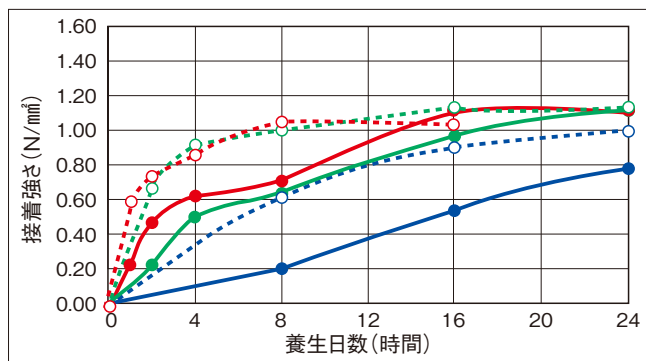
床タイル(30×75×12mm)×モルタル(20×70×70mm)

特 徴

- 内装(半屋外) 床タイル張り用接着剤
- 微弾性のため床タイルが割れにくい
- 低臭タイプのため、内装に適します
- 接着強度発現が早く、工期短縮が可能

接着強さ立上り試験

JIS A 5557 接着強さ試験に準拠し、各養生日数経過時の引張接着強さを測定



- 5℃、促進剤無し
- 5℃、促進剤2袋(20g)/本
- 23℃50%、促進剤無し
- 23℃50%、促進剤2袋(20g)/本
- 35℃50%、促進剤無し
- 35℃50%、促進剤2袋(20g)/本

硬化促進剤 PMアクセラレータ (10g/袋)



タイルエースシリーズは、空気中の湿気により硬化するため、内部の硬化に時間がかかります。

「PMアクセラレータ」を混合することにより、内部硬化を早めることが可能です。

使用目安：1本(2kg)に対し1袋(10g)(最大2袋(20g)まで)

接着強さ試験結果

JIS A 5548 TypeIIセラミックタイル張り内装用接着剤

項 目	接着強さ(N/ mm ²)	基 準
標 準	2.17	0.60 以上
乾燥・水中	1.64	0.30 以上
熱劣化	2.68	0.30 以上
低温硬化	2.03	0.30 以上
アルカリ水中	1.44	0.30 以上

耐衝撃性(落球試験)

仕上材厚み	タイルエース床リフォーム用	タイルエースPro
9mm	20~25cm	5~10cm

300mm角床タイル、530g鋼球

施工方法

使用製品：タイルエース床用、タイルエース床リフォーム用

下地の検査、調整、清掃



タイル割付、墨出し、糸張り



接着剤の取出し



接着剤の塗布



タイル張り



目地直し



タイル清掃



養生



目地詰め



後片付け



検査

(1)下地の検査、調整、清掃

タイル張りに先立ち、下地の浮きの有無、密着性・強度を確認してください。浮きは補修し、下地を十分乾燥してください。強度不足は補強してください。下地の汚れ(ゴミ、ほこり、水分、油など)や型枠離型剤、金属の錆、コンクリートのレイタンスは取り除いてください。不陸が大きい場合は、JIS A 6916のCM-2に適合する既成調合モルタルを使用してください。

※吸水調整材やシーラーには接着剤がつかないので、接着剤が直接触れる箇所には使用しないでください。

※雨水がかかる場所および下地材に水分が浸透する可能性がある場合は、下地にプライマーMP2000を塗布してください。

(2)接着剤の取出し

タイルエース床用またはタイルエース床リフォーム用の端部をカッター又はニッパー等で開封してください。接着剤の必要量を手やコテを用いて絞り出してください。袋に残った接着剤はコテでしごき出してください。

(3)接着剤の塗布

下地によくなじませるように塗りつけた後、クシ目ゴテを用いて、しっかりクシ目を立ててください。使用するコテ、塗布方法などは、仕上げ材等の種類に応じて事前に検討し、適切な方法を選んでください。

※タイルは水湿ししないで張り合わせてください。

(4)タイル張り

タイルの張り付けは、モミ込むように押さえつけ、手圧ないしはヴィブラート等の工具を用いて丁寧に押さえます。張付け可能時間以内にタイルを張り終えてください。(直射日光が当たる場合は可使時間が短くなることがありますので注意が必要です)タイル張り付け後、2~3㎡毎にタイルを一度はがし接着剤の塗布量が70%(タイル裏面全体に均等に接着)以上であることを確認してください。

張付け可能時間：〈タイルエース床用〉40分/23℃、15分/35℃

〈タイルエース床リフォーム用〉30分/23℃、25分/40℃

(5)目地直し

接着剤の可使時間内に目地直しを行ってください。

(6)タイル清掃

接着剤がタイルに付着した場合は、接着剤の硬化後にカッター等で接着剤が薄くなるまで削ってください。残った接着剤は、砂消し等で削って除去してください。硬化前は、有機溶剤(シンナー、アセトン)で除去もできますが、接着剤が広がって薄く残り、経時での汚染を引き起こす場合があります。

(7)養生

接着剤が硬化しタイルが動かなくなるまで、張り付けたタイルにはのらないでください。

(8)目地詰め

目地詰めの場合は、接着剤が完全に硬化した後(通常は一日以上)に行ってください。冬場(低温時)は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めを行ってください。

※より詳細な施工方法は施工マニュアルを参照ください。

標準使用量：〈タイルエース床用〉5mm罫目 1.9kg(1本)/㎡

7mm罫目 3.8kg(2本)/㎡

〈タイルエース床リフォーム用〉5mm罫目 2.0~2.5kg/㎡

7mm罫目 4.0~5.0kg/㎡

接着剤の取り出し



接着剤の塗布



タイル張り



使用上の注意

1. 接着施工は、5~35℃の環境温度で行ってください。
2. 降雨時、降雪時などで、接着面が濡れているような時の接着施工は避けてください。
3. 接着施工に使用した塗布道具などは、接着剤が硬化する前に有機溶剤(シンナー、アセトン)を湿らせたウエス等でふき取ってください。
4. 接着剤が、皮膚などに付着したときは、速やかに石鹸などで洗ってください。
5. 本包装には防湿機能を持たせてありますので、ご使用時までには開封しないでください。
6. 下地の防水は、接着施工とは別に行ってください。
7. 接着剤は、5~35℃の直射日光が当たらない場所に保管してください。
8. 接着剤は湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
9. 接着剤は本用途以外には使用しないでください。
10. 接着剤を使いきってから廃棄してください。残っている場合は硬化させてから廃棄してください。廃棄する場合は地域の条例に基づき処理をしてください。
11. シーリング材は、変成シリコン系を使用してください。
12. 接着剤が露出する場合は必ず目地詰めを行ってください。

取扱い上の注意

1. 皮膚に触れると、体質により肌荒れの原因となる場合があります。ゴム手袋などの保護具を使用してください。
2. 皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸等を用いて洗い落としてください。
3. 目に入った場合は水でよく洗い流し、異常のある場合は医師の診察/手当てを受けてください。
4. 作業場所ではよく換気をしてください。
5. 火気を近づけないでください。
6. 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)を参照ください。

タイルアジャスト工法

	タイルエース Pro	タイルエース L Pro	タイルアジャスト	タイルアジャスト5
				
用 途	内・外装 壁タイル用 下地調整塗材	内・外装 壁 軽量タイル用	下地調整塗材	下地調整塗材
特 長	標 準	低粘度	厚塗り	良作業性
規 格	JIS A 5548 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC JIS A 5557 JIS A 5548 TypeI QCAT (C1) Q-CAT (個別)	JIS A 5548 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC JIS A 5557 JIS A 5548 TypeI QCAT (C2)	JAIAF☆☆☆☆ JAIA 4VOC JIS A 5557 Q-CAT (個別)	JAIA F☆☆☆☆ JAIA4VOC JIS A 5557 Q-CAT (個別)
規格/入数 色 品 番	・ 2kg×9本 ホワイト : RE-459 グレー : RE-452 ブラック : RE-473 ・ 500mL×20本 ブラック : RE-449	・ 2kg×9本 ホワイト : RE-520 グレー : RE-518 ブラック : RE-519	・ 2kg×9本 ライトグレー : RE-532	・ 2kg×9本 ライトグレー : RE-561

内装タイル張り・大判タイル張り・石材張り・床タイル張り工法

	タイルエース F	タイルエース 石材用	タイルエース 床用	タイルエース床リフォーム用
				
用 途	内・外装 壁 大判タイル用	石材用	床 用	床 用
特 長	速硬化・低臭	低汚染	微弾性	微弾性・速硬化
規 格	JIS A 5548 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC JIS A 5557 JIS A 5548 TypeI	JAIA F☆☆☆☆ JAIA 4VOC	JAIA F☆☆☆☆ JAIA 4VOC	JAIA F☆☆☆☆ JAIA 4VOC
規格/入数 色 品 番	・ 2kg×9本 ホワイト : RE-217 ・ 500mL×20本 ホワイト : RE-206	・ 2kg×9本 ホワイト : RE-578 ・ 500mL×20本 ホワイト : RE-405	・ 1.9kg×9本 ホワイト : RE-505	・ 2kg×9本 ホワイト : RE-560

その他

	硬化促進剤PMアクセラレータ	タイルエース用ノズルシール 特許出願中	500mL専用クリーンバックガンCG(クリーンバック用ノズル3個付き)
			
規格/入数 品 番	10g/袋×9袋 RE-547	φ18mm 200袋(10入/袋×20) XA-526	品 番 ガン : XA-360 ノズル : 7070006

※本カタログに記載の仕様および外観は改良のため、お客様に予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※本カタログに記載のデータ・各種事項は当社の信頼する代表的な実験値や調査によるもので、保証値ではありません。
※ご使用にあたっては、必ず事前に、本製品がお客様の使用する目的・用途・条件に適合するか否かを、お客様ご自身の責任でご判断の上、ご使用ください。 ※特に、光と熱の複合的な環境に継続的に暴露されることが想定される用途(電球カバーの
接着、接着面が太陽光に当たる部位の接着など)におきましては、長期耐久性を含む接着剤の適合性を適切に評価・判断出来ない場合は、使用を控えてください。 ※売主および製造者の責任は、不良が証明された場合の製品の交換であり、付帯する
事項すべてを保証するものではありません。 ※輸出の際は、営業担当にご確認ください。

お求めは

セメダイン株式会社

東京事業所 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ☎(03)6421-7271

ゲートシティ大崎イーストタワー

大阪事業所 〒542-0081 大阪府中央区南船場1-16-10 ☎(06)4964-5330

名古屋事業所 〒460-0008 名古屋市中区栄2-3-1 ☎(052)218-5316

札幌営業所 ☎(011)271-4929 仙台営業所 ☎(022)287-3611

福岡営業所 ☎(092)432-7520

<https://www.cemedine.co.jp/>

商品に関するお問い合わせはお客係へ

☎0120-58-4929 (10:00~12:00、13:00~17:00 土曜・休日を除く)



ホームページ

タイルエースシリーズ(626)21E-2M1